

演題名	根羽子牛市場の現況		
発表者 氏名	青木一郎	所属	飯田家畜保健衛生所
<p>平成8年12月から平成9年9月までの間に5回開催された根羽子牛市場の出荷子牛状況を調査。出荷頭数は全体で去勢507頭、雌361頭、計868頭。そのうち受精卵移植による子牛（ET子牛）は去勢109頭（全体に占める割合21.5%）、雌69頭（同19.1%）、計178頭（同20.5%）。</p> <p>出荷子牛の平均日齢は、去勢271日、雌288日。平均体重は去勢280kg、雌259kg。平均価格は去勢39.1万円、雌32.5万円で、それぞれ開催時期により有意差が認められた。</p> <p>項目間の相関では、体重が増加するほど価格は高く、日齢が進むほど体重1kg当たりの単価が低くなる傾向がみられた。出荷子牛の父（種雄牛）は55頭であり、そのうちの5頭が出荷子牛全体の55%を占めていた。特にET子牛においては種雄牛が限定されていた。また、種雄牛により価格に有意差が認められた。</p> <p>価格は、市場開催時期、体重、種雄牛によって影響を受けるが、飼育日数の増加による体重の増加は、そのまま収入の増加にはつながらなかった。</p>			